2022.01.09. 聖書預言・アップデート

私たちの唯一の希望はイエス

JD ファラグ牧師

おはようございます。第一礼拝へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」を毎週、長年してきています。第二礼拝は、神の御言葉を節ごとに学ぶ「聖書の学び」で、現在「ヘブル人への手紙」ほぼ終盤です。今日は「奇妙な教えの危険性」と、それを「拒絶するための見分け方」を学びます。それをハワイ時間、11時15分からライブ配信します。是非ご参加ください。今、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、jdfarag.org へ直接行かれ、検閲なし、中断なし、完全版の今日の「聖書預言・アップデート」をご覧ください。それでは、始めましょう。実際にポイントを押さえて、こう言います。「私たちは今、イエス・キリストだけに唯一の希望を置くところにいる。」すなわち、私たちが愛情を込めて言うところの「祝福された希望」とは、患難前の教会携挙のことです。それは、皆さん考えるなら、実は単なる祝福や希望でありません。なぜ、そう言うか説明します。間違いなく、それは祝福であり希望ですが、確信を持って希望する！　という意味での希望ではありません。そうではなく、単なる祝福ある希望なのではなく、私たちの”唯一の”希望なのです。そして、そういう希望なだけでなく、真理なのです。私たちにある唯一の希望、唯一の真理は、その真理が、イエス・キリストです。イエスは仰いました。

「わたしが（その）**道であり、**（1つの道ではありません）（その）**真理であり、**（1つの真理ではありません）（その）**いのちなのです。**（1つのいのちではありません）**わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」（ヨハネ　14：6）**

イエスが唯一の希望です。では実際「テトス2章」から、私たちは、「テトスへの手紙」を節ごとに、結構最近学びましたね。宜しければ、11節から15節を読みたいと思います。使徒パウロが聖霊に導かれ、牧師であり、御言葉の教師、テトスに手紙を書いていて、神がパウロに、この手紙を書かせられたのです。テトスへのこの書簡は、テトスへの励ましと、また指導する為です。11節から、

テトス　2

11 実に、すべての人に救いをもたらす神の恵みが現れたのです。

12 その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、

13 待ち望むように教えています。

待ち望んで！

…祝福に満ちた望み、

祝福ある望むとは？

…すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある”現れ”を待ち望むように教えています。

14 キリストは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心な選びの民をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです。

そしてパウロは、こう言います。15節、

15 あなたは、これらのことを十分な権威をもって語り、…

お～待ってください。では、どのようなことを教えればよいのでしょうか？　祝福ある望み。イエス・キ

リストの教会携挙でのイエス・キリストの現れ。私はこれらのことを教えるべきなのです。それからこう言います。
…勧め、…それは出来ます。私たちは皆、励まされたいと思っています。…戒めなさい。…OK。ちょっと待ってください。それはしたくありません。叱られる側になりたくないのは確かです。勧め（励まし）という言葉と一緒になっているのが、
…勧め、戒めなさい。
…これらのことを十分な権威をもって。それからパウロはこう言います。
…だれにも軽んじられてはいけません。
本当に？　なぜパウロは、聖霊に導かれ、テトスに軽んじられないようにと書いたのでしょうか？　テトスを軽んじる人たちがいたからでは？　ーそうです。なぜ？　なぜなら、パウロが、これらの教えるべきことを教えていたからです。彼は励まし、戒めていたからです。神から与えられた全ての権限を持って。その結果、それを理由に彼を軽蔑する者が出てきたのです。興味深いですね。そして実に、常に、イエス・キリストの患難前教会携挙の健全な教義となると、決まってこうなります。それが全てを物語っています。それだけで。私は決して屈服しません。私は決して挫けません。私は決して怯むことはありません。特にイエス・キリストの教会携挙での来臨の、健全な教義を教え、説くことに関して、私は決して黙っていません。私は愛を持って真理を話します。愛が故に、真理が故に。それが私たちの唯一の希望で、それが真理です。ヨハネも、第一書簡 3 章でこのことについて語っています。2 節 3 節を読みたいと思います。使徒パウロが、携挙に関して、テトスに書いた手紙と一致しています。この祝福ある望み、唯一の希望、唯一の真理です。
I ヨハネ　3
2 愛する者たち、私たちは今すでに神の子どもです。やがてどのようになるのか、まだ明らかにされていません。しかし、私たちは、キリストが現れたときにキリストに似た者になることは知っています。キリストをありのままに見るからです。
それから、ヨハネはこう言います。
3 キリストに”この望み”を置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします。
訳すと、この希望を期待して生きている人は、この祝福ある希望、私たちが持つ唯一の希望。なぜなら、それが私たちがこの状況から抜け出す唯一の道だからですよ。イエスが来られ、私たちを連れ出さなければ、この状況から抜け出せません。それが、私たちがこの状況から抜け出す唯一の方法です。それが私たちの唯一の希望です。でも、イエスにおいてこの希望を持っている人こそが、イエス・キリストとの関係について真剣な人のです。彼らは、自分の身の回りを整理します。彼らは、未処理の問題を解決します。そうすることで、未処理の問題を解決するだけでなく、現世や現世のものへの執着を緩めるのです。
この 2 年間、世界で起こったことには、ある意味、この必要な効果をもたらした事に同意されるのではないでしょうか。まず特に、この世とこの世のものに絶望している人々をイエスに向かわせるために。私がこれを言うことに飽き飽きしないでほしいのが、もし、このようなことがなかったら、多くの人々がイエスに立ち返ったかどうかは非常に疑問です。私たちは、携挙まで、彼らのことを知ることはありません。その時、非常に大きな驚きが待っていると思います。待ちきれません。では、私たちの問題です。問題は、大多数の人々が、まだ科学やこの世界のシステムに希望を託していることです。敢えて言えば、大統領に。あの大統領に、とは言ってないことに留意ください。大統領に。政府に、です。踏み込んで提

案します。多くの公言するクリスチャンや、牧師たちでさえ、まだ、この死にゆく世界に希望を置く人々に数えられています。これには理由や説明があるかもしれませんが、この世とこの世のものへの愛ほど、分かりやすいものはありません。これもヨハネが、聖霊によって、第一書簡 2 章で書いている事です。15 節から読みます。

I ヨハネ　2

15 あなたがたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているならその人のうちに御父の愛はありません。

16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

17 世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

これが真理です。聖書の中の無数の預言によれば、これがこの世の終わり方で、これがこの世の終わる時です。悲しい事に、何とか物事が好転し、物事が良くなり、更には元に戻るという希望を持ち続けている人たちは、私が先ほど言った「これが終わり方で、これが終わる時」という言葉を信じていない人たちと同じです。よろしければ、残りの時間を使って、大変シンプルに、大変謙虚に、理性的に、論理的に考えてみたいと思います。そしてもっと重要なのが聖書的に検討し、世の中が良くなることを期待することが、実際にどのようなことかをもう一度考えたいと思います。理論に訴えています。理論的でありたいと思います。預言者イザヤを通して神が記されたことを考えます。

「さあ、来たれ。論じ合おう。（理論的に考えよう。）**たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」（イザヤ　1：18）**

しかし、私たちは座って、一緒に理由を考える必要があります。理論的に考える必要があります。ヤコブの手紙に記されています。

「上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、道理にかなったものです。」（ヤコブ 3：17）

理論に基づいて訴えたいと思います。その為、先に進むため、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。まだの方は、JDFarag.org サイトへ直接どうぞ。

ー本編ー

それでは、以下の内容は、順不同で、祈りながら、注意深く、かなりの時間をかけて作成したリストです。何が起きねばならないかのリストで、起きる必要があるだけでなく、”すぐに”起きる必要があるリストです。この世界に希望があるのなら、今すぐ起こるべき、という意味で。では、これを見て、一緒に考えてみましょう。はい、ですか？　そりゃそうですよね。幾人かの方は仰ってますね。「分からないけど、始めてください。またお知らせします。」ーOK。１番、

１）今すぐ、全てのあらゆる注射を止める事。

世界に展開している注射を今すぐ。そして、マスクを廃止する事。求められている、と言ってもいいでしょうが、さらに踏み込んで「身に着けている」これ以上、マスクを着用することはない事。それが 1 番です。

２）接種した人に、今のような有害事象がなくなること。

完全に止める必要があります。3 番、これまでのところ、どうですか？　OK。ではさらに悪くなりますから。
３）世界の人口に対して行われているあらゆる悪魔的な悪の計画を直ちに終わらせる事。
待って、まだあるの？　それ以上の悪魔的な計画があります。あなたには分からないでしょう。それを直ちに終わらせること。
４）何万人もの人が死ぬのを止める事。
因みに私が、何万人も、と言う時、控えめに見積もっていると言えるかもしれません。人々が、この接種から亡くなる事を止める。
５）世界経済と供給連鎖を瞬時に回復させる事。
なぜなら、現在、言わば、パイプラインのようなものがありません。仮に今、供給連鎖を瞬時に復旧させれたとしても、まだ時間的余地が要ります。復旧時間と言った方がいいかもしれませんが、これまで意図的に枯渇していたものを補充し始める前には。意図的に。6 番、98 番までありますからね。いえ冗談です。10 番までです。10 個なので、先に言っておくべきだったかもしれませんね。もう半分まで来ました。どうかお付き合いくださいね。98 個、あげられるのでしょうけどね。
６）世界規模での大規模な欺瞞を認める事。
7 番、これはデカいです。全部デカいですが、これは、心が痛む少し身近なものです。
7）すべての企業、特に教会は今すぐ再開する事。
そして、決して、決して、決して、二度と扉を決して閉めない事。ごめんなさい。8 番、
８）世界中の労働者が、すぐに雇用に戻る事。
９）病院は、お金のために病人を殺すのではなく、実際に病人の治療を始める事。
私は真実を話さなければなりません。
10）どうにかして世界を早急に正常な状態に戻す事。
OK。これが私のリストです。もちろん、全てを網羅しているわけではありません。間違いなく、まだまだ加えられるでしょう。しかし、質問してもいいですか？　修辞的なものではありません。私は純粋に皆さんに次の質問をしたいと思います。今、私が読んだこの 10 のリストは、皆さんにとって多少でも理論的ですか？　私が読んだばかりの 10 のリストは、それが必要だというのは馬鹿げていると思いませんか？　このように質問を投げかけるべきかもしれません。私が読み上げた項目は、今、このようなことが起こる可能性はあると思いますか？　特に、現在の軌道を預言的に考えて。同意されますか？　これは非常にありえないことだけでなく、現に、逆が真実で、そうはなり得ないというだけでなく、どうなるかというと、 日を追うごとに悪化していく？　では、1 つだけ取り上げましょう。供給連鎖。考え違いしないでください。店舗の棚は、これからどんどん空っぽになっていきますし、今でもそうです。理由を知っていますか？　世界経済を解体・破壊し、黙示録で言われている通りのデジタル・キャッシュレスシステムを導入したいからです。7 年間の患難時代に、まさに予定通りに成就します。予定通りです。支配解体です。理由があって、わざとその言葉を使います。幾人かの人は理由をご存知ですね。それに感謝します。しかし 、世界経済と世界政府を支配解体し、すでに背景にいる反キリスト支配下の世界統一経済、世界統一政府を導入するからです。ということで、私たちが理論的なら、私たち、理論的ですよね。「はい」と言うことで、私たちは大変理論的です。ここで平静を装っています。言うまでもなく。これはとても暗いことなんです。私は気づき、身が引き締まる思いですし、そうする必要があります。しかし、別の

質問をしたいと思います。私の心を聞いてください。主は、私の心をご存知です。しかし、愛する人が救われること以外に、なぜ、この世界を生命維持装置で維持しようとするのか？　特に、イエス・キリストの信者であり従う者が、私たちが、私たちの家ではない、この世界で歓迎されず、とっくに長居しているのを皆さん知っていますよね。では、別の質問です。たくさん質問があると思います。私がこの質問をする時は、自分自身にもこれらの質問をしている事を分かってください。で、その質問は、私たちには、この興奮と期待があるべきではないですか？　ラッパが鳴り、キリストにある死者が先によみがえり、それから生き残っている私たちが引き上げられ空中で主と会い、永遠に主とともにいることに。イエスが私たちを連れ去り、イエスが仰った、私たちのために、ご準備されている場所に連れて行ってくださるという真実が、すべてであるべきではないですか？「ヨハネの福音書 14 章」です。よく引用しますよね。イエスがこう弟子たちに仰った時、「あなたがたに場所を用意しに行くので、行かねばなりません。あなたがたは、わたしに行ってほしい筈ですよ。」弟子たちは震えあがりました。イエスともう一緒にいられないからです。だから、イエスは彼らを励まし、慰めようとして、こう仰るのです。
「わたしが行けば、あなたがたに聖霊を送ることができます。」
神がそばにいなくとも、自分の中に神がいるようになるのです。（ヨハネ　14：17 参照）
どこに署名すればいいですか？　それって完璧です！　1 つ補足で追加させてください。たぶん皆さんへの励みになるかもしれません。私にはそうなんです。でも、私たちはいつも、イエスが世で公のミニストリーをされていた時に生きていた弟子たちや人々に感激しますね。「わお～それは、どんなだったのかな？」さらには、次のようにも言えます。「天国に行ったら会うのが待ちきれないよ！」「使徒パウロに会うのが待ちきれないよ。」会えるんですよ。私にはリストがあります。もちろん、皆さんにもあられるでしょう。パウロが一番上にあります。ダビデ、エレミヤ、そして、エリヤ。私は本当にエリヤに会いたいです。ノアに、アブラハムに会いたいです。リストはどんどん続きます。エステルにも本当に会いたいですよね。ほ～わお～、モルデカイ。君か～。わお～ですよ。こう考えたことはありませんか？　彼らが、あなたに会いたいと思ってくれていること。弟子たちの話をしましょう。実際に、特定の弟子について話しましょう。悪評の多いトマス。天国に行ったら、多くの人がトマスに謝罪すると思います。ペテロも、トマスの後ろにいます。「何を一体疑っていたの？トマス。」イエスが彼に仰ったこと知っていますよね。
「あなたはわたしを見たから信じたのですか。（わたしが見せているものを/手の杭の跡を）**見ないで信じる人たちは幸いです。」（ヨハネ　20：29）**
それが私たちです。彼らはそこでイエスと一緒にいました。私たちは違います。つまり、不思議なのです。お付き合いください。彼らはこう思っていると思います。「彼らに会うのが待ちきれないよ。だって、彼らはイエスといなかったんだから。」「彼らはイエスのそばにいなかったのに。」「しかし、彼らは私たちが見たものを見ていません。」そして彼らは信じたのです。では、興奮と期待という質問に戻ります。御父の家に、私たちのためにご用意された場所へ、私たちを連れて行くためイエスが来られ、それが婚姻部屋ですね。花婿は行って、花嫁のための場所を用意します。この婚姻部屋で、2 人は 7 の期間、結婚を完成させ、祝うのです。7 の期間の終わりに、2 人はこの婚姻部屋から出てきて、2 人の結婚を完成させ、お祝いします。7 の期間の終わりには、子羊の婚宴と呼ばれる大祝宴が開かれます。イエスが弟子たちに「わたしは用意をしに行きます。」と仰っている時、弟子たちは理解していたでしょう。点と点が繋がっていたはずです。それで、彼らは、イエスがが行かなければならないことを知って非常に不安な状態であっても大いに勇気づけられたことでしょう。そしてイエスは、十字架に行かれました。でもイエスは、彼

らのために、私たちのために、場所を用意しに行かれたのです。
「わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」（ヨハネ　14：3）
そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。（ヨハネ　14：2 参照）ここがポイントです。イエスは戻って来られます。イエスがご用意されている場所へ私たちを連れて行くために。わお～待ちきれません。イエスもそうなのですよ。どういう意味ですか？　お～聖餐式で共に与かるたびに、「ルカの福音書 22 章」です。木曜日の夜の礼拝でしましたが、イエスは、2 回も仰っているのです。
「これが私の王国で実現した時に、あなたがたと一緒に与かることを切に願っています。」
（ルカ　22：15・18 参照）
何を仰っているか分かりますか？　子羊の婚宴です。彼らが上の部屋で過越の祭を祝っていた時、私たちは親しみを込めて「最後の晩餐」と呼びます。というのは、そうだったからです。それが、最後の晩餐、最後の過越祭のお祝いでした。イエスは仰いました。「これが、あなたがたとの最後の食事です。でも、あなた方に言います。次に、あなた方と一緒に食事するのは、ほ～わたしの王国です。」
それをしっかり覚えておいてください。私たちは、子羊の婚宴で、イエスの花嫁としてイエスのそばに座ることになります。わお～でも私たちはこの地上にいたいのですか？　上に行きたくないですか？　それに興奮しませんか？　上に行くのですよ。どうすれば可能なのか？　唯一の説明は、クリスチャン生活が、この世という一時的な土壌に深く根を張りすぎました。今日の第二礼拝は、「ヘブル人への手紙」を学びますが、「自分自身に死ぬ」を少し話します。こんにち、神の御言葉である真の福音・神の評議を教えている教会を探すのは難しいでしょう。自分自身の十字架を背負い、自分自身を否定する。自分に死ぬ？　そんなことしたくない。イエスは仰いました。それをしないなら、わたしの弟子ではありません。
（マタイ　10：38 参照）
わたしの弟子になりたいですか？　はい。日々、自分の十字架を負いなさい。日々とは何か、分かりますか？　日々、毎日です。そしてイエスに従う。これに関してもう 1 つ。それから締めくくります。死は悲しみをもたらします。私たちの多くは、愛する人の死に伴う悲しみや嘆きを知っていると思います。希望のない人ほどではないにしても、私たちはまだ悲しんでいます。しかし、この世の人生に対する死の嘆きを考えたことはありませんか？　国家の死への嘆きはどうですか？　ライフスタイルの死への嘆きは？ _____の死への嘆き。空欄を埋めてください。聖霊の助けを借りれば、空白を埋めるには事欠かないでしょう。 先週、たぶん私はとても悲観的ですけども、取り繕おうとすると、やらせになってしまい、事実ではなくなってしまいます。私はただ悲しんでいるだけです。私はただ悲しんでいるだけです。終わりなのです。この世は死んでいっています。この世は過ぎ去っていっています。今は悲しみの途中です。娘のノエルが死んだとき、私たちは、彼女が死んでいくのを分かっていました。そのために、私たちは受け入れなければなりませんでした。悲しみの段階でした。本当に一番大変だったのは、彼女を手放すことでした。悲しみの中で、一番難しいのは、彼らを手放すことではないでしょうか？　随分昔、本土でのこと、大親友が、彼はキリストに辿り着いていて、私はその人生の一部の特権に与りました。彼は、当時私が教えていた聖書の学びや事業での一員でした。彼は結局、癌になってしまい、主の下へ旅立ちました。しかし、彼の奥さんが救われるまで決して召天しなかったのです。その様子は、とても迫力がありました。私たちは、その奥さんの救いを何年も祈っていました。彼女はかなり厳格なモルモン教徒でした。福音に対して、心を閉ざされているような感じでした。彼女はセシルと彼の主への愛をとても応援していていま

した。それで彼が、もうその時、意識がはっきりしていなく、終わりに向かって行ったり来たりというか、どなたかが亡くなる際の、ベッドのそばにいた経験のある方は、彼らは意識が朦朧としていますよね。それで私たちは、そこに座っていて、聖霊からの強い示唆を感じたのです。彼は、奥さんが主の下に来ると分かるまでは、主の下へ旅立つことはないだろうと。その示唆は、聖霊の、静かな小さな声でした。それがどんなものかご存知ですね。逃げることはできません。主がこう仰っているようでした。「彼女に伝えなさい。」私は、「嫌です。」それで伝えたのです。何が起こったと思います？　私はこう言いました。「あなたが真のイエス・キリストの救いへ辿り着くまでは、彼は主の下へ行くことが許されていません。」彼女は崩れ落ちました。泣き出したのです。そして彼女は、心から言ったのです。自分の人生をキリストに捧げますと。即座に彼は、意識がはっきりとし、それまでは、意識朦朧としていたのです。それで私たちは祈りました。彼は言ったのです。「そうだ！！！」そして、その場で召天しました。私はただ、圧倒されました。奥さんがイエスに辿り着くまでは、絶対に逝かなかったんです。イエスのところへ行こうとしませんでした。私は何が言いたいのか？　要点があります。信じても信じなくても、衝撃を受けることもありますが、要点に行くまでに時間がかかります。景色のいいところを案内するのが好きなんですよね。しかし私の要点はこうです。時に私たちは、まだなお執着していて、手放さないでしょう。なぜ人々がラッパの響きと共に、イエスが来られるのを求めないのか、私にはそれが唯一、理に叶う理由です。人々はまだ握りしめてるからです。手放してください。手放してください。私が今日話している事を何も聞かなくても、これは聞いてください。イエスが来ようとされています。私たちの誰もが考えるより間近に。この世を手放してください。そして、私たちは行くのです。最後の１つ。まだ、最後の１つとは言ってませんよね。どうか、これも聞いてください。ペテロが言っている事を考えます。預言は人の解釈ではありません。私たちは狡猾に考案された寓話を信じているのではありません。（II ペテロ　1：21 参照）これらは法医学的な証拠があるのです。事実証拠があります。聖書と預言者が示す圧倒的な証拠は、イエスが来られることを、合理的な疑いを超えて証明しており、これが私たちの唯一の希望です。この世に望みを置いているあらゆる人に言いたいのは、出来る限り、愛を持って言います。あなたは驚かされるでしょう。その言葉を使うのは申し訳ないのですが、ハイジャックされているのです。アラブ人もハイジャックを使うべきじゃありませんが、別の単語もあります。言い方はマズいですが、あなたは驚きに遭います。もしあなたが、普通の生活に戻るという希望を持っているなら、それは違います。違います。これが終わり方です。これが終わる時です。あなたが、イエス・キリストにおいて、新生したクリスチャンなら、携挙で終わります。そして、そうではないなら、言葉にならない恐ろしい、7 年の患難時代で終わります。イエスの再臨までの、人類史上最後の 7 年です。それが終わり方です。それが終わる時です。ぜひ私を確認してください。私の言葉を鵜呑みにしないでください。ベリア人になって、聖書聖句を調べてください。そして今日、私が伝えたことが、真実かどうか見てみて下さい。これが真実です。この世は死んでいっています。もう時間の問題です。生命維持装置？　じゃあ、もう１つ。恐らく聖霊からです。両親が亡くなる前、私は主から生前信託と医師の指示書をまとめるように示唆されました。全然上手くいってなかったので、私の文化では、伝統的に長男が両親の老後の面倒を見るので、私もそうしてきました。神は両親を祝福下さいました。その為、私を祝福くださいました。今日は泣いてばかりですみません。母は病院に入院していて、昏睡状態でした。医師から電話があって、基本的にこう言われました。「もう本当に時間の問題です。」私は「分かりました。では、医師の指示書がいるので、すぐに行きます。」と言って、指示書を持っていきました。　というのも、私は母と父の両方と、難しいながらも話し合っていたからで

す。「OK、では私に何をしてほしい？」両親ともが言いました。「何もする必要ない。私たちはただ召天したいから。なので、ただ旅立たせてほしい。」私はこんな風でした。「嫌だ。行ってほしくない。」私たちは指示書を持って医師と会い、彼女は私にこの言葉を言いました。というのも、指示書を実行するのが本当に大変だったからです。医師はこう言いました。「あなたは、生命維持装置を外さずに済みます。その決断が、あなたのためで、 あなたの代わりです。」その医師は正しかった。母は私がそばにいて、母の手を握っていました。心電図の線がまっすぐ平らになった時、母は目を開き、両手を上げました。そして、母は主の御前に導かれました。それ（生命維持装置を抜く/尊厳死）をする必要がありませんでした。でも、母を手放さなければなりませんでした。それが今の私たちの状況ですよ。友の皆さん。私たちはこの世界を手放さなければなりません。手放さなければなりません。このことについて考えていたのですが、この聖書預言・アップデートを続けて、なんと、もう 16 年、17 年になるでしょうか。正直に言うと、私は特権として、毎週のように 皆さんの前に立ち、今日の私のように真剣に、緊急に皆さんに話すとは想像もしていませんでした。それほど近づいているという意味です。そしてこれが、聖書預言・アップデートをする理由です。これが福音、イエス・キリストの救いで締めくくる理由です。また、救いの簡単な説明、「救いの ABC」をする理由です。

Ａ：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。自分が罪びとであるのを認めない限り、救い主に興味を持ちません。

ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは誰しも、生まれながらにして罪びと（的外れ）なのです。ですから、イエスが仰るように、神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。ローマ人への手紙 6 章 23 節、まず悪い知らせから始まります。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

死刑宣告なのです。しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

次に B です。ABC の中心です。簡単にただ、B:Believe＝信じるだけです。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を”信じる”者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」（ヨハネ 3：16）

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと”信じる”なら、あなたは救われるからです。」

死に打ち勝つために、イエスが復活しなければならなかったことを理解することが大切です。罪の罰則が死ですからね。ですから、イエスが、罪を完全に支払う（償う）のなら、死んで復活しなければなりません。その支払いを完了するために。最後に、C です。

Ｃ：主の御名を Call/呼び求める。また再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ 10：10）

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、決定打です。
『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』（ローマ 10：13）
『救われる。』少し時間を取って、ここで今日の 「しかし、神はストーリー」証、絶対的な奇跡を共有します。これを皆さんに共有するのを楽しみにしていました。
ネブラスカ州、ジェイミー・アリーナさんからです。
「こんにちは！JD！　毎週のメッセージや、預言・アップデートを見るのがとても楽しいです。救いの ABC に感謝します。あなたの説明の仕方がとてもシンプルでわかりやすいです。私はシンプルさが要る人間です。（JD 牧師も挙手中）あなたのメッセージを見ていたら、神が私の注意を引かれました。この話はとても心に響くので、皆さんに共有したいと思いました。私はキリスト教教会で育ちましたが、高校に入るとだんだんと信仰から離れていきました。間違った人たちと付き合い、パーティーを始めたことで、多くの傷を負い、自分自身を恥じていました。とても落ち込んでしまい、落ち込めば落ち込むほど、アルコールに頼るようになりました。当時を振り返ってみると、神は私のそばを離れず、見捨てられたと思っても、慰めてくださっていたのがよくわかります。2012 年 1 月、私が高校 3 年生の時です。レストランで働いていた時、頭の中で神の声がはっきりと聞こえました。 「お酒をやめなさい」と。あまりにも鮮明で、1 週間ほど気になっていました。その間、お酒は全く飲みませんでした。1 週間が過ぎた頃、その声に、疑問を感じ始めました。「本当に神だったのか？　きっと気のせいだ。もう一度飲んだって、何も起こらないかもしれないし。」それで、次の土曜日の夜に飲むことにしました。友人とドライブしていて、交通事故に遭いました。運転手が制御を失い、木にぶつかった時の衝撃を覚えています。気がつくと、私は車の下敷きになっていて、友人たちは車の外に出て私を探していました。彼らを呼び、助けてと言いました。彼らは私を引きずり出し、携帯電話のライトで私を照らすと、自分の右の前腕の残骸が見えました。骨を除いてすべてが切断されていました。動脈を切断してしまい、出血多量で死にそうでした。友人の 1 人が、すぐに携帯電話の電波を求め走り出し、911 に電話をかけました。人里離れたところだったからです。一人の友人がシャツを脱いで止血帯にし、私の腕を支えてくれました。自分が死んでいくのを感じて、怖くなりました。友人に、両親へ謝罪の言葉と愛を伝えてほしいと頼みました。その時に唯一、自分の助けになると思ったことを実行しました。神に頼ったのです。私は空に向かって叫び、「どうか命を助けてください」と訴えました。ええ、すべてが完璧に機能しました。救急車で運ばれ、助かりました。医師は、私がどうやって助かったのか理解できませんでした。怪我をしていれば数分で失血するはずで、救急車で運ばれるまでに 30 分以上かかっていたからです。朝になって彼らが現場に戻ってみると 私は自分と全く同じ大きさの穴に落ちたのが分かりました。だから、車に押しつぶされずに済んだのです。振り返ってみると、すべてに神の御手があり、私を死から守ってくださいました。回復に時間がかかりました。その後、完全に神に立ち返ったと言いたいところですが、長くて苦しい 7 年間、私は怒りを覚えました。しかし、神は。あなたのメッセージ通り、その時間を私を揺さぶるために用いられました。それをなさったことが嬉しいです。私が進んでいた道は、私を永遠の死へと導くものだったからです。今、私は神に従う者です。結婚して、3 人の美しい小さい息子がいます。神を知るよう育てる特権があります。主はなんと良い神であられるでしょう。主の御名を呼ぶ者を救ってくださることに感謝します。私は主をとても愛しています。あなたのメッセージにとても感謝します。いつの日か天国でお会いしたいと思っています。（ぜひ）神の祝福がありますように。ネブラスカのジェイミーより。」ー拍手喝采ー
ご起立ください。皆さんの励ましになったと願います。皆さんの中に、反論や議論の余地のない、紛れも

ない絶対的な奇跡を経験したことのある方も多いと思います。他に方法がなく、神以外にないとわかるような方法で神がして下さったこと。今日ここにいるあなたには、奇跡が必要なのかもしれません。私はあなたを励ましたいのです。神は今も奇跡を起こす働きをなさっています。神は今も奇跡を起こしておられます。つい先週の出来事をご紹介するのが待ちきれません。お〜、奇跡の数々。お〜皆さんが、私の受信トレイを見れるなら、実際に見せるべきかどうか分かりませんが、それが可能なら、物凄く励まされますよ。奇跡の中にあるすべての証に。ただただ、神の善です。最後の１つ。そして祈りましょう。ご忍耐に感謝します。他にどう言えば良いか分かりませんが、もしあなたが、主の御名を呼び求めたことがなく、主に信頼を置いたことがなく、信じたことがないなら、たぶん、今読んだばかりの証のように、主から離れ、主と歩んでいなくて、でも神は、ご忠実な方で、神は優しく、神はあなたに忍耐強くあられます。神はあなたを置き去りにせず、見捨てられません。神はそんなことはなさいません。決してあなたを見捨てません。しかし、神は、この全てを通して、あなたの注意を引こうとしておられます。神は、あなたの注意を引かれてますか？　もしそうなら、神を避けたり、顔を背けないでください。神があなたの人生に語られる通り、その声に耳を傾けてください。今日が救いの日だからです。永遠のいのちという人生で最も大事な決断をもうこれ以上先延ばしにしないでください。なぜなら、主が来られる時、もう来られますが、ラッパの響きと共に、私たちはここから出ます。上にあがり、主と共にいるのです。私はあなたを連れて行きたいのです。行きたいですか？　よろしい。祈りましょう。
天のお父様。ありがとうございます。主よ、私は最善を尽くしました。この後は聖霊がなさってください。ここから先は、あなたが私の心に置かれ、話し共有したこれらのことを、あなたが用いてあなたの民である私たちの心の中で、次のレベルへと導いてくださいますように。イエスの御名によって祈ります。
アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7